

様式

技術名称	防波堤港内側補強工法 「サブプレオフレーム」	技術の分類	工法	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)	無
会社名等	日建工学株式会社	担当者	松下 紘資(マツシタ ヒロシ)	連絡先	06-6821-7900
技術の概要	偶発波浪荷重に対して、既存の直立式防波堤を粘り強い構造にするための港内側のカウンターウェイトブロックとなる補強工法です。高い滑動抵抗力を発揮するので、比較的簡単・廉価に防波堤を補強することができます。 従来工法としては、割石および方塊ブロックを使ったものが港湾の施設の技術上の基準・同解説に掲載されています。(P837,第4編3.1.4.(11)直立部の港内側を補強する場合)		添付資料	パンフの有無	有
				その他の資料	発表論文
技術の特徴	サブプレオフレームは孔のある枠体構造で、孔部の中詰めに自然石を使います。底面の自然石と中詰石とのかみ合いの効果によって大きな抵抗を発揮します。 従来の捨石工法との比較:同じコストで出来得る断面において、1.4倍も大きな抵抗力を発揮します。(6t型2列×2段、摩擦係数0.6を使用して計算) 工程・安全性:ブロックは陸上で製作するので、従来の捨石工法に比べると海上での作業時間を1/4に短縮することができます。(6t型2列×2段の場合) 施工性:無筋構造で単純形状のコンクリートブロックですので、通常の根固ブロックと同様に製作することができます。4隅に吊鉄筋があるので運搬・据付も簡単です。 環境への影響:中詰め材に自然石を使用するので、同じコンクリートを使用する方塊ブロック工法に比べると環境へ配慮することができます。		その他	特許について 京都大学防災研究所と日建工学で共同特許を出願しています。利用制限はありません。特許料は必要ありません。 添付資料1 パンフレット 添付資料2 発表論文(ISOPE2011) 添付資料3 発表論文(H23年度海岸工学講演会)	

※複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。